

「おいしいノリを」



手際よく進められた石巻湾支所の陸上採苗
＝9月8日

種付け順調、目標4億枚



近藤正昭部会長

宮城県産乾のり「みちのく寒流のり」の生産が順調に進んでいる。8月下旬から9月上旬にかけては、ノリの胞子を網に付着させる種付け作業（陸上採苗）が各地で活発に行われた。今季はコロナ禍で乾のり需給の見通しが依然不透明だが、生産者は「おいしいノリ



網の一部を切り取って顕微鏡で付着具合を確認

をみんなで頑張るって作るの」と気合を入れる。水車を使った陸上採苗は晩夏の浜の風物詩。当組合石巻湾支所のり部会（近藤正昭部会長）は8月28日、石巻市渡波のかき共同処理場敷地内で作業を開始した。長さ18尺、幅1・35尺の網を巻き付けた10基の水車（直径2・1尺）を、ノリの胞子が付着したカキ殻の入った水槽の水面に浸すように回し、浮いてくる胞子を網に付着させていく。時折、網の一部を切り取り、胞子の付着具合を顕微鏡でチェックしながら進めていた。

1視野当たり50個以上の付着を確認後、網はいったん、冷凍庫で保管。9月8日までに例年並みの約3万1千枚の種網を仕上げた。海水温が下がった9月末に沖合の養殖場に張り、11月中旬ごろから収穫を迎える。当組合の昨季の乾のり生産量は前季比22％増の3億6413万枚。このうち同支所は同8％増の6119万枚で、今季も同程度の生産を見込む。全国漁連の事業推進協議会によると、昨季の

の殻むき作業に精を出した。9月23日の品質検査会では卵を放つ時期に必要な適度なシケが少なかつたため、食用に適さない「卵持ち」が多く見られたが、この日は身入りの良さに笑顔が広がった。専用のナイフを手にも、山のように積み重ねられた殻から身入りの締まったカキを次々と取り出し、むき身約800キを生産した。ハシリの出荷ペースは石巻産カキの甘みと弾力が特徴的



豊漁を祈願する寺沢組合長（前列左から3人目）ら。9月16日

国内生産量は約70億枚。年間82億枚とされる国内需要は旺盛だが、消費の主力はコンビニおにぎりで、コロナ禍で行楽を控える動きが消費に打撃を与えたとの懸念もある。今季から当組合のり部会の部会長も務める、同支所の近藤部会長は「コロナの影響は今のところ全く読めない。不安定な海況の中でも、黒々と香り高いノリをみんなで頑張るって作るのみ。（県全体では）4億枚を達成したい」と意気込みを語った。

酒や焼きのり、カキ、ホタテなどを供え、豊漁と海の安全を願った。16日に石巻市の鹿島御児神社で開かれた中部地区の祈願祭には関係者約20人が参列。神事で寺沢

春彦組合長、石巻総合支所の木村千之運営委員長が玉串をささげ、今季の海上安全と大漁に加え、新型コロナウイルスの早期収束を祈った。寺沢組合長は「カキやノリなど、さまざまな漁業がいよいよ始まるので良いスタートを切りたい。新型コロナウイルスの影響による魚価低迷にも対応していく必要がある。組合員の所得向上を目指したい」と力強く話した。

生カキ出荷スタート



須田政吉部会長

当組合は10月12日、今季の生食用むき身カキの共販入札を開始した。高水温が続いた影響で成育が遅れ、昨季より5日遅れのスタートとなったが、多くの浜で放卵が進み、身入りはふりっと良好。へい死被害はこれまでほとんど見られていない。昨季比3割増の約1,700トンの出荷を目指す。



山積みされた殻付きのカキから、素早く身を取り出していく＝10月12日、鳴瀬支所（東名共同かき処理場）

では入札初日の同日、組合員と家族、パート従業員ら約80人が早朝から、前日に水揚げし殺菌処理したカキ

入札は例年同様、北部・中部地区が石巻総合支所、南部地区が塩釜総合支所の各共販所で実施。環境に配慮した養殖に与えられる水産養殖管理協議会（ASC）の国際認証取得品は北部の志津川支所戸倉出張所と中部の石巻地区、石巻市東部の石巻湾の3支所産となる。

当組合は今季も、「生食カキの宮城」の看板を前面に他産地との差別化を図っていく。貝毒とノロウイルスの検査体制、衛生管理を徹底。生産する組合員自らの健康管理も重要となる。おいしくて、安全・安心なカキを全国の消費者に届ける。

鳴瀬支所の共同処理場



鳴瀬産カキの甘みと弾力が特徴的

たため、食用に適さない「卵持ち」が多く見られたが、この日は身入りの良さに笑顔が広がった。専用のナイフを手にも、山のように積み重ねられた殻から身入りの締まったカキを次々と取り出し、むき身約800キを生産した。ハシリの出荷ペースは石巻産カキの甘みと弾力が特徴的

巻が1日12ト、塩釜2トとなっている。当組合かき部会の須田政吉部会長は「入札は遅れたが、落下被害や昨季多発したへい死はほとんどない。宮城のカキは品質第一。コロナ禍による需要低迷が心配だが、さまざまな調理法で楽しめるカキを全国にPRしていきたい」と意気込む。昨季の共販実績は1327ト、23億7765万円。前季より250トほど減ったが、高単価に支えられ前季と同額を確保した。

協同組合論

北海学園大学経済学部教授

濱田 武士

22



コロナ禍の影響で、外食需要が急激に縮小したため、おむね浜値は高級な水産物ほど低調な状態が続いてきました。もちろん、スルメイカやサシマなど極端に水揚げが少ない魚種においては高値が続いていますが、全般的に厳しかったと思います。

新しい浜の姿、10年先見据えて

業務が煩雑になった今日、これまでのしくみは円滑に機能しなくなっています。かつての協同の精神性のようなものが薄れていきます。それ自体が現代的にアレンジされる作業が遅れてきたことがあるからです。私が感じるところです。

担い手も減ってマンパワーが完全に不足してしまっています。今後、組合員と職員の担い手の減少は避けられません。

そこで求められるのは10年先までのストーリーを描くことです。そのためには、これまでの漁協の運営の在り方をよく見つめ直さなければなりません。今漁協が行っている事業や業務などを現実と照らし合わせながら、守らなければならないことと続けられないこととを明らかにし、今までのままでは続けられないまでも民間事業者の協力を得たり、IT関連の技術などを導入したりすれば

漁協経営の体力も徐々に奪われ、厳しくなっています。このような状況下、役員の方々は何か手を打つべきかどうかなど頭を悩ませているかと思いますが、おそらく状況が好転するまでは苦しい日が続きます。また、現場

のなかで、必ず出てくる場面です。それはさておき、協同組合には、役員、職員、組合員と大まかに三つの立場があります。私は、これらの三つの関係を次のように理解しています。組合長を代表にした

組織に判断を委ね、役員組織の指揮に従って業務を遂行し、組合員へのサービス提供に努めるだけでなく、職員のそれぞれの立場の専門性を生かして提案をしていくことも求められます。部会、支部会、青年部、女性部など

せん。協同組合の所有者は組合員です。それだけに組合員組織の代表である総代、部会長、支部会長、青年部長、女性部長の役割は重いのです。これらがうまく機能して漁協は協同組合らしく維持します。しかし、

物の中から県産を積極的に選んでくれるようになるはずだ。自らが生産した水産物を子どもたちがおいしそうに食べる姿を見ることが、生産意欲の増大にもつながっている。

昨年度、支所内7分会が一つの団体として活動する組織改編を実施。行列ができる食堂「あちやんの店」を運営する、視察先の大洗町漁協女性部（茨城県）から「一歩踏み出さないと何も始まらない」とアドバイスを受け、魚食普及活動をスタートさせた。

組合員が組合員で、漁業研究会「漁師が育てるナマコ種苗・簡易手法による種苗生産試験への取り組み」（発表者・鈴木

放流サイズの2センチ程度まで飼育しようとする多額の餌代がかかるため、2センチ程度まで成長した段階で地先海面に沖出しし、放流サイズまで成長させられるかどうかにも検討。初年度は約300個体の放流に成功した。活動を通して資源管理に対する意識の醸成が図られた。研究会の取り組みでナマコ資源が増加すれば漁業経営の安定化を図ることができ

「島おこし」の流儀とヒトと島とを繋ぐ架け橋となれ」（発表者・小松博文会長）

漁業士会南部支部と七ヶ浜女性部に栄誉

光る活動実績、全国へ

県漁業者交流大会

県、当組合の青年部と女性部連絡協議会が主催し今年で19回目。新型コロナウイルス感染症拡大

浜の取り組みの様子が随所に盛り込まれ、いずれ劣らぬ素晴らしい発表だった。震災から9年。浜の中核である皆さまの活動が地域の復興状況や課題に応じて再構築されていると実感できた」と発表者をたた

発表した。発表要旨は次の通り。県漁業士会南部支部「Stop!『魚離れ』」

子ども食堂の多くがコロナ禍で休止を余儀なくされているが、食糧支援に切り替えて活動しているところもある。焼きのりなど日持ちする水産物を提供することは十分可能。魚食のとも

親子を対象にカレイのさばき方教室を開き、七ヶ浜ならではの食べ方を伝えたほか、同支所青年研究会が養殖試験を進めるダリスのメニュー開発にも着手。つくだ煮にしたり、パンの生地練り込んだりと試作を重ねて商品化を目指している。

宮城県は今年度、指導漁業士3人、青年漁業士6人を新たに認定した。9人全員が当組合員で、認定日は6月4日。漁業士は県漁業士会に所属し、さまざまな活動を通じて浜の活性化を図る。新型コロナウイルスの

感染拡大を受け、例年県庁で行われている認定証交付式は中止となった。新規認定者と、任期満了に伴い昨年度末に退任した指導漁業士4人は次の通り（敬称略、かつこ内は所属）。

▽新規認定青年漁業士 後藤伸弥（志津川支所）、佐々木優太（同）、三浦正幸（同）、横山正俊（石巻湾支所）、青山喜信（北上町十三浜支所）、佐藤慎太郎（仙台支所）



鈴木一樹さん（石巻市東部）



小松博文さん（気仙沼地区）



最優秀賞に輝いた齊藤裕さん（県漁業士会南部支部、左）と佐藤順子さん（七ヶ浜支所女性部）

宮城県青年・女性漁業者交流大会が8月24日、県石巻合同庁舎で開かれた。魚食普及や地域活性化、資源増殖などをテーマに4団体が日ごろの活動実績を発表。最優秀賞に輝いた県漁業士会南部支部と当組合七ヶ浜支所女性部は、年度末に東京で開催予定の全国大会に県代表として出場する。

組合からのお知らせ

信用共済部

いまだ収束の兆しが見えない新型コロナウイルス。組合員の資金繰りを手厚くサポートしていくこと、感染拡大の影響を受けた漁業者向けに「漁業経営サポート資金」と「JF マリンバンクコロナ対策長期資金」を準備しました。

漁業経営サポート資金は融資限度額が500万円（または新型コロナウイルスによる漁業影響額のいずれか低い額）。無利子・無担保・無保証で融資期間は2年以内（うち据え置き期間は1年以内）です。

一方のJFマリンバンクコロナ対策長期資金は所要金額の範囲内（当面2〜3カ月の運転資金）で融資を受けられます。融資期間は10年以内（うち据え置き期間は3年以内）です。

資金繰り支援強化

無利子・無担保で融資

き期間は3年以内）。金利は1.3%ですが、当初5年間は0.5%の利子助成があります。原則無担保・無保証（借入金額など必要に応じ個別対応）。

ほかに、漁業経営の維持・安定に必要な運転資金に利用できる融資商品を各種取り扱っています。資金需要や返済条件の変更など、新型コロナウイルスの影響の有無にかかわらず、資金繰りの相談は随時受付中。最寄りの金融センター窓口までお気軽にお問い合わせください。

【金融センターの問い合わせ先】気仙沼 0226・26・4720、石巻 022・5・24・1145、塩釜 022・361・9210

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた漁業者・組合員の皆様へ

～漁業経営の維持及び安定を図るために必要な運転資金～
融資商品各種お取り扱いしております。資金繰りや返済条件の変更など、感染症による影響の有無にかかわらず、**気仙沼の信用共済部 JF みやぎ**にご相談ください。

漁業経営サポート資金

対象者：新型コロナウイルス感染症の影響を受けた漁業者
金 利：無利子
限度額：500万円（又は新型コロナウイルス感染症による漁業影響額のいずれか低い額）
融資期間：2年以内（据置1年以内）
担保等：無担保・無保証

JFマリンバンクコロナ対策長期資金

対象者：新型コロナウイルス感染症の影響を受けた漁業者
金 利：1.3%（ただし、JFマリンバンク利子助成事業により当初5年間0.5%の利子助成あり）
限度額：所要金額以内（当面2〜3ヶ月の運転資金）
融資期間：10年以内（据置3年以内）
担保等：原則無担保・無保証（借入金額等、必要に応じ個別対応）

ご相談はお近くのJFマリンバンク窓口へ

お問い合わせ先 JFみやぎ 気仙沼金融センター：0226-26-4720

石巻金融センター：0225-24-1145

塩釜金融センター：022-361-9210

※個別の状況に応じて対応することとなりますので、ご要望に沿えない場合もあります。まずは窓口にご相談を！

いずみさんと夫の隼人さん、お義父さんの石森運営委員長。残念ながら匠くんはお昼寝中



石巻市鹿立 石森いずみさん

浜の嫁さん

大好きな海と魚介 そして温かい家族

隼人さんの姉とは高校の同級生、ソフトボール部の仲間だった。隼人さんの父裕治さん（同支所運営委員長）の好意で、夏休みには鹿立で合宿するのが恒例となり、高校1年のときから石森家のお付き合いが始まった。

石巻市東部支所鹿立の石森隼人さんに嫁いでもう3年。10カ月の匠（たくま）くんの子育てに奮闘中だ。家では力キとワカメを主に営む。石巻市旧河北の出身。

高校卒業後は東京で音楽関係の学校に通い、その後就職。東京で十数年暮らした。「その後宮城に帰ることにしたんです。が、こっちは人たちは結婚も早いので、もう私は結婚は無理だろうなと思って帰ってきました」。仙台で仕事を探し就職が決まったものの、人員が足りていない石巻支所で働いてほしいと言われ、運命の糸に引かれるようにまた石巻で暮らすようになる。石森家の人

たちと再び頻りに会うようになり、隼人さんとも意気投合。やがておつきあいに発展し、1年後に入籍した。「鹿立がどういふところかとか、お義父さんやおうちの環境も知っていたので戸惑いはありませんでした」。

「（漁家の嫁が）務まるかなあという不安はあったんですけど、お義父さんも夫も『そんな堅く考えなくてもいいよ』と言ってくれました」。

「環境には慣れてきました。子どもを育てるにはいいところだなって思っています。それに何と言っても『大好きな海の幸がたくさん食べられる』と屈託なく笑う」。

「子どもには自由にやりたいことをさせたい。ただせつかくこの環境に

志津川支所・渡辺和也さん(33)



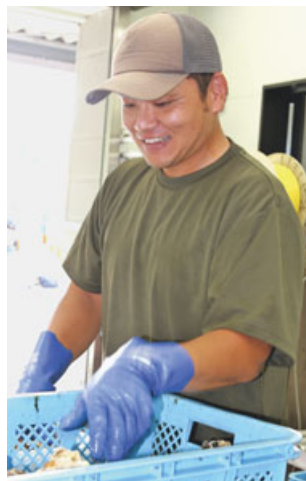
海ない町から2年 養殖の面白さ実感

た家族や上司などからは、危険ではないかと反対の声が多かった。特に母は最後まで心配していたという。でも「基本的に自分の意思尊重なので」と漁師になる決心を固めた。「震災や津波ももちろん頭をよぎりましてが、『海は怖い』と言

って何もしないより、やってみてみたい気持ちのほうが強かった」。半年間、いろいろな浜に研修に行った。漁師に憧れていたときは、船に乗って魚を獲るといふイメージがなかったが、研修のほとんどが養殖の仕事で、そのうち意識も

で、まだまだわからないことが多いですね。これからないことは工藤広樹社長はじめ周囲に教わり、経験を積んで覚えていく。『皆さんによくしていただいています』。そうした周囲の尽力もあり、准組合員にもなれた。いずれは小さな船を持ち、刺し網やごんなんかもやってみたい。ワカメの養殖もいつかは自分の区画を持ちやってみたいと夢は膨らむ。コロナで延びてしまっているが、青年部活動にも参加したいと考えている。

1ジがぴたり。宮城県の「みやぎ漁師カレッジ」の2期生として研修を受け、その後南三陸町の（株）南三陸オイスターの社員となってカキ養殖の仕事をし、もうすぐ2年となる。それまでは福島



カキの出荷作業。お盆などは目が回る忙しさだ

県郡山市で介護福祉士として働いていた。漁業を目指したのは、ずっと釣りが趣味で、海で出会ったテレビで見る漁師さんに、かっこいいなと憧れを抱いていたから。漁業就業を相談し



ブランドカキ定着、後継者育成に力



唐桑支所 組合員 762 人（正 167 人、准 595 人）。職員は 7 人。令和元年度の販売取扱高は 6 億 4500 万円。このうちホタテが 2 億 1300 万円で、ワカメ 1 億 8900 万円、カキ 5900 万円。カジキ類などの漁船漁業は 1 億 4900 万円。

県の最北端、太平洋に突き出た唐桑半島は三陸沿岸に連なるリアス式海岸のほぼ中央部に位置。複雑な地形で入り江が数多く存在し、景勝地としても名をはせる。古くから沿岸漁業だけでなく遠洋漁業も盛んで、まちの人口の 8 割が漁業に関連する職業に従事。ホタテやワカメ、カキといった

県の最北端、太平洋に突き出た唐桑半島は三陸沿岸に連なるリアス式海岸のほぼ中央部に位置。複雑な地形で入り江が数多く存在し、景勝地としても名をはせる。古くから沿岸漁業だけでなく遠洋漁業も盛んで、まちの人口の 8 割が漁業に関連する職業に従事。ホタテやワカメ、カキといった

鈴木章登運営委員長



千葉明宏支所長



長。頬張ると口の中に広がる濃厚な味わいが全国のカキファンを一瞬にしてとりこにする。唐桑は、海を豊かにするために森に木を植えようという、漁師らによる植樹運動の発祥地。森から流れ出た養分が川を通じて海に注ぎ、植物プランクトンを育てて魚や貝などの恵みをもたらす。ホタテ貝柱はつややかな

荒波にもまれた外洋育ちのワカメは肉厚で、しやしきとした食感が高い評価を受ける。伝統的な突きん棒漁で獲るメカジキは、カツオやサンマと並ぶ気仙沼のトップブランドの一つだ。漁業者の所得向上につなげようと、ホシガレイやヒラメの放流事業を実施。近年漁獲が好調なマダコやアナゴ漁も推



全国にファンが多い「もまれ牡蠣」

奨める。目下の課題は後継者不足。組合員は 65〜75 歳が中心で、県内でも特に高齢化率が高い。地元の小中学生を対象としたカキ養殖の体験教室を開くなど将来の担い手確保に努めるが、漁業者の数は震災の影響もあって減少が続く。鈴木章登運営委員長は「このままでは支所運営が立ちゆかなくなる。新規就業者を早急に増やしていく必要がある」と危機感を募らせる。希望の光も見えてきた。支所の強い働き掛けもあり、気仙沼市が 7 月、石巻市で漁師を獲得してきた一般社団法人フィッシュアーマン・ジャパン（FJ）に担い手育成事業を委託。10 月中旬に唐桑で開催した「漁師学校」では、県外の若者が漁業の楽しさや厳しさ、地域の魅力に触れた。今後 FJ とタッグを組み、新規就業者の確保と定着を目指していく方針だ。鈴木運営委員長は 7 月、千葉支所長は 4 月の着任。ホタテ養殖の機械化に地域でいち早く乗り出した鈴木運営委員長と、漁協入職以来、唐桑一筋の千葉支所長が担う改革への期待は大きい。鈴木運営委員長は「海洋環境の変化に即した漁業のあり方を模索しなければならぬ。現場の状況を見極めながら、必要な対策を打っていきたい」と意気込む。

唐桑支所を訪ねて 雄勝町雄勝湾



末永陽市運営委員長



阿部貴之支所長

雄勝町雄勝湾支所 組合員 203 人（正 46 人、准 157 人）。職員は 5 人。販売取扱高は 11 億 4800 万円。ギンザケとホタテが多くを占めるが、ここ数年ホタテが苦戦している。ほかにカキ、ホヤ、秋サケ定置、若干のワカメ、各浜で潜水で採るナマコなど。



緑の山に挟まれ深く切れ込んだ雄勝湾。ここで作られるホタテは、成長が早く玉も大きく、甘いと定評がある。昔から買受人やホテル・料理店などが「雄勝のホタテ」を欲しがってきた。山から栄養豊富な水が流れ込み、海は穏やかで、水深が深いために水の入替えも早く水温も上がりに

く。溶存酸素の低い水が発生しても湾奥までは入ってこない。海底に伏流水が湧くなど、さまざまな自然の恵みが融合して、高品質のホタテを生み出している。恵まれた環境のみならず、生産者も独自の規制を守って品質の維持を徹底している。垂下の間隔 60 秒以上、1 本の綱に最



大きく育ったホタテの水揚げ作業

大 160 枚。以前は規制が守られているか検査もしたが、もはやこれを破る人もいなくなった。残念なことには他地区同様、ここ数年へい死や貝毒による出荷規制に苦しんでいる。「ホタテが復活すればよそには負けない」と、末永陽市運営委員

中の一は、この 9 月に正組合員となった。こうした若い人たちが SNS などを上手に使い、雄勝湾の海の幸を発信してくれることを阿部支所長は期待する。「評価の高いホタテやギンザケを、もっと広くダイレクトに PR し、なおかつ固定客がついてくれたら」。末永運営委員長も「若い人たちが、作っている自分の思いも乗せて販売できるようにしたい」と考える。いずれは観光物産交流館で販売をしたり、観光協会のイベントにも協力していきたいと考える。新たな雄勝の賑わいの場に、この恵まれた海の幸の存在は欠かせない。

自慢のホタテとギンザケ。PR が鍵

みやぎサーモンなど 8 種



特別価格 & 送料無料

お歳暮にいかが

組合員限定「海のおとどけ便」スタート

当組合は、宮城自慢の海産物を送料無料で全国に届ける「海のおとどけ便」を始めます。職員にアンケートを実施し、人気商品をピックアップした組合員限定の初企画。活じめのみやぎサーモンや生食用カキ、C A S 凍結のホタテ貝柱、はらこめしセットなど 8 種類を特別価格で用意しました。日本全国、北から南まで送料は一切かかりません。組合員の自宅への配送も無料です。お歳暮などの贈答用にのしのサービスも行います。来年 2 月末までの販売で、年内発送の受付締め切りは 12 月 15 日。詳しくは同封のカatalog をご覧ください。